

第七十六回
帝國議會
貴族院

治安維持法改正法律案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

治安維持法改正法律案(政)

委員氏名

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 男爵渡邊 修二君
公爵二條 彌基君
侯爵井上 三郎君
子爵岡部 長景君
子爵舟橋 清賢君
織田 萬君
村上 恭一君
男爵井田 馨楠君
田口 弼一君
堀切善次郎君
男爵伊江 朝助君
山岡萬之助君
次田大三郎君
長岡隆一郎君
竹下 豐次君
山隈 康君
上野喜左衛門君

昭和十六年二月二十二日(土曜日)午前十時十七分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今ヨリ委員會ヲ開會致シマス、私御推薦ニ依リマシテ委員長ヲ勤メルコトニナリマシタカラ、ドウゾ宜シク御願ヒ致シマス、最初ニ國務大臣(柳川平助君) 本會議ニ於キマシテ治安維持法改正法律案提出ノ理由ヲ大

體御説明申上ゲマシタガ、尙稍、詳細ニ互リ御説明申上ゲタイト思ヒマス、本改正案ハ第一章罪、第二章刑事手續、第三章豫防拘禁ノ三章ヨリ成ッテ居ルノデアリマス、第一章ハ現行法ノ罰則ニ全般ニ互ル改正ヲ加ヘ、之ヲ整備強化致シタノデゴザイマシテ、第二章及第三章ハ新タニ規定ヲ設ケムトスルモノデアリマス、以下章ノ順序ヲ逐ッテ改正ノ要領ヲ申上ゲマス、第一章ハ現行法ノ罰則ヲ整備強化致シタノデアリマスガ、罰則ノ改正強化ヲ必要トスル理由ニ付少シク詳シク申上ゲマス、御承知ノ如ク現行治安維持法ハ大正末期ヨリ昭和初年ニカケテノ思想運動情勢ヲ背景トシテ立案セラレマシタ關係上、共產主義運動殊ニ日本共產黨ノ活動ヲ主タル對象トシテ規定セラレテ居ルノデアリマス、然ルニ同法施行後ノ實蹟ニ徴シマスルニ、共產主義運動ニ於キマシテ、日本共產黨ノ外ニ日本共產青年同盟又ハ日本労働組合全國協議會ヲモ第一條所定ノ結社ト認定處罰致シマシタノミナラズ、是等ノ所謂正統派共產主義運動ト對立的ナル所謂農工派「グループ」ニ對シ、或ハ日本無政府共產黨等ノ無政府主義運動ニ對シ、又ハ民族獨立運動ニ對シ、更ニ皇道大本、天理本道、燈臺社等ノ所謂類似宗教運動ニ對シマシテモ亦本法ノ罰則ヲ適用シテ、之ガ檢舉處罰ヲ行ハザルヲ得ナカッタ次第デアリマシテ、其ノ取締對象ガ立法當時豫想シタル所ニ比シ著シク擴大セラレ、且複雑化スルニ至ッテ居リマスト共ニ、共產主義運動ニ關

シマシテモ、日本共產黨ノヤウナ有力結社ハ屢次ノ檢舉ト情勢ノ變化ニ依リ殆ド全ク其ノ活動ヲ休止シ、外面上其ノ存在ヲ疑ハル、ニ至リマシタ結果、運動形態ハ從來ノ統一的、組織的運動形態ヨリ分散的、個別的運動形態ニ移行シ、且黨ノ目的遂行ノ爲ニスル活動ヨリ一轉シテ、黨ノ組織再建ノ準備活動又ハ黨の機運ノ醸成ノ爲ノ活動ニ終始スルニ至ッテ居ルノデアリマス、昭和十年七月ノ「コミンテルン」第七回世界大會ニ於ケル人民戰線方策ノ採用及ビ一昨年秋ノ「コミンテルン」ノ戰術轉換ハ、更ニ運動形態ノ複雜化ヲ増大致シテ居ルノデアリマス、斯カル事態ハ現行法ノ豫想シナカッタ所デアリマシテ、法ノ運用上相當困難ガアルノデアリマスカラ、現行法第一條乃至第三條ヲ適當ニ改正シテ新情勢ニ對應セシメルト共ニ犯罪ニ付テモ之ヲ加重シテ、我が國體ノ尊嚴ニシテ冒スベカラザルモノナルコトヲ規定ノ上ニ明確ナラシメ、以テ取締ノ完璧ヲ期スルト共ニ、早期檢舉ノ實ヲ舉グル爲メ改正ノ必要ガアルノデアリマス、其ノ趣旨ニ於キマシテ罰則ヲ整備強化セムトスルモノデアリマスガ、其ノ主要ナルモノハ、次ノ六點デアリマス、其ノ一ハ本案ニ於キマシテハ、國體ヲ變革スルコトヲ目的トスル犯罪ト、私有財産制度ヲ否認スルコトヲ目的トスル犯罪ニ關スル規定ヲ各、別個ノ條文ト致シ、又國體變革ニ關スル犯罪ニ付キマシテハ刑種ヲ懲役ニ限リ、禁錮刑ヲ削除致シマスト共ニ刑ノ短期ヲ高メルコトニ

依ッテ刑罰ヲ重化致シタ點デアリマス、其ノ二ハ本案ノ第二條ニ於テ支援結社、所謂外廓團體ニ關スル處罰規定ヲ新タニ設ケタコトデアリマス、御承知ノ如ク各種ノ外廓團體ニ依ル共產主義者ノ組織的行動ハ、現行法實施後ニ現レマシタル思想犯罪ノ新ナル態樣デアリマスガ、是等ノ外廓團體ハ專ラ日本共產黨ノ貯水池タルノ役割ヲ果シ、三・一五事件以來數次ニ互リ黨中央部ニ對シ致命的檢舉ヲ加ヘマシタニ拘ラズ、其ノ力ニ依ッテ黨ノ勢力ヲ順次補給シ、黨ノ再建ニ寄與致シマシタ一面、廣ク大衆ニ共產主義思想ヲ滲透傳播セシムルニ與ッテ力ガアツタコトハ顯著ナル事實デアリマス、即チ共產主義運動ニ對スル防遏ノ目的ヲ達シマス爲ニハ、獨リ共產黨ノミヲ取締ノ對象トスルノデハ到底不十分デアアルコトガ明カト相成ツタノデアリマス、此ノ點ニ關シマシテハ、現行法ハ第一條中ニ於テ「結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタル者」ト云フ規定ヲ設ケ、結社ノ外部ニ在ル者ニシテ結社ノ活動ヲ支援スル者ヲモ亦結社加入者ト同様ニ處罰シ得ル途ヲ拓イテ居リマスノデ、外廓團體構成員ノ行動ニ對シマシテモ、亦結社ノ目的遂行ノ爲ニスル行爲ヲ爲シタル者トシテ、或程度迄ノ處罰ガ出來ルノデアリマスガ、其ノ組織者又ハ之ニ匹敵スル主動者ニ對スル刑罰トシテハ輕キニ過グルバカリデハナク、規定自體カラ申シマシテモ外廓團體ヲ直接ノ對象トシテ規定致シテ居リマセス爲ニ、遺憾ノ點ガ頗ル多

イノデアリマス、共產黨自體ノ活動が殆ど休止セル状態ニアリマス最近ニ於キマシテモ、唯物論研究會、其ノ他一、二ノ典型的ナ外廓團體ヲ檢舉致シマシタ事例モアリマシテ、現在ニ於テモ支援結社ノ處罰規定ヲ設クル必要ハ十分ニアルデアリマス、從テ本案ニ於テハ外廓團體ニ關スル特別規定ヲ新設致シマスト共ニ、團體變革ヲ目的トスル結社ノ例ニ倣ヒマシテ、支援結社ノ組織者及ビ之ニ匹敵スベキ主動者ニ對シテハ最高ヲ死刑ト致スト共ニ、最低ハ五年ノ懲役ト規定致シ、尙其ノ加入者又ハ目的遂行行為者ニ對シテモ之ヲ處斷シ得ルノ途ヲ拓イタデアリマス、其ノ三ハ本案第三條ニ於テ準備結社ニ關スル規定ヲ新設致シタコトデアリマス、最近ノ共產主義運動ノ特色ハ、前述ノ如ク分散的、個別的ナル形態ヲ採テ居ル點デアリマシテ、殊ニ團體變革ヲ究極ノ目標トシテ待望シツツ當面、集會、宣傳、啓蒙其ノ他ノ方法ニ依リマシテ、共產主義者ヲ養成結集シテ、黨再建ノ機運ヲ醸成スルコトヲ主タル目的トシテ結社ヲ組織スル者ガ相當ニ多イ現状デアリマス、斯カル結社ヲ現行法第一條ノ結社ト認メ得ナイコトハ勿論デアリマシテ、而モ斯カル結社ニ對シマシテハ支援結社ニ對スル同様相當ノ重刑ヲ以テ臨ミ、且結社其ノモノヲ捉ヘテ之ヲ處理スルノ必要ガアリマスノデ、新タニ準備結社ニ關スル規定ヲ設クルコトト致シタデアリマス、其ノ四ハ結社ノ程度ニ至ラザル集團ニ關スル規定ヲ設ケタコトデアリマス、前述ノ如ク最近ノ共產主義運動ノ形態ガ分散的、個別的トナリマシタ結果、所謂準備結社ノ出現ト共ニ所謂「グループ」の形態ニ依ル運動ガ漸次其ノ數

ヲ加ヘテ居ルデアリマス、現行法ノ解釋トシテ、結社ハ共同ノ目的ノ爲ニスル特定多數人ノ任意ノ繼續的結合ニシテ、相當結合カノ鞏固ナルモノデアルト解セラレテ居リマス爲、其ノ結社ノ要件ノ一ヲ缺ク場合ニ於キマシテハ結社トハ認メ得ナイデアリマス、而モ前述ノ所謂「グループ」的存在ノ中ニハ或ハ共同目的ノ點ニ於キマシテ、或ハ構成員ノ特定性ノ點ニ於キマシテ結社ト認定シ得ナイモノガ相當ニ多ク、現行法ノ規定ヲ以テシマシテハ之ヲ結合體ソレ自體トシテ處理シ得マセヌ爲、結社ニ關スル規定ノミヲ以テシマシテハ取締ノ完璧ヲ期シ得ナイデアリマス、而モ此ノ種集團ハ單ニ最近ノ共產主義ニ於ケル運動形態ニ現レテ居リマスノミナラズ、無政府主義運動又ハ民族獨立運動ニ於テハ常ニ現レル運動形態デアリマス、ノデ、斯カル現行法ノ不備ヲ補正スル必要アルニ鑑ミ、茲ニ第一條乃至第三條ノ目的ヲ以テ結成セラレタ集團ニ關スル處罰規定ヲ設クルコトニ致シタデアリマス、其ノ五ハ本案第五條ニ於テ宣傳其ノ他團體變革ノ目的の遂行ニ資スル行為ヲ取締ル規定ヲ設ケタコトデアリマス、現行法ハ個人的行為ニ關スル取締規定トシテ實行ノ協議、煽動及ビ犯罪煽動ニ關スル處罰規定ノミヲ設ケ、其ノ餘ノ行為ニ及ンデ居ナイデアリマスガ、最近ニ於ケル運動情勢ヲ見マスルニ、宣傳、啓蒙其ノ他危險ナル行動ヲ取締ル必要ガ多分ニアルデアリマス、宣傳ハ煽動ト共ニ結社活動ニ於テ缺クベカラザル運動方法トシテ重要ナル意義ヲ有スルモノデアリマス、宣傳ガ結社ノ目的の遂行ノ爲ニ爲サレタ場合ニ於キマシテハ結社關係ノ行為トシテ檢舉處罰シ得ルデアリマスガ、結社ト關係ナク

不逞目的ノ實行ヲ宣傳致シタ場合ニ於キマシテハ、全然之ヲ罰スベキ規定ヲ缺イテ居ルデアリマス、元來宣傳ハ一定ノ事項ヲ不特定又ハ多數人ニ説明シ且慫慂ヘテ其ノ理解ト共鳴トラ求メムトスル行為デアリマスルガ故ニ、不逞ノ思想ガ國民ノ腦裡ニ浸潤致シ、遂ニ團體觀念ヲ腐蝕セシムルニ至ル危險ガアルデアリマシテ、其ノ危險性ハ煽動ト殆ド軒輊ガナイデアリマス、殊ニ人民戰線方策ニ則リ、巧妙且陰謀ノ間ニ主義ノ宣傳ヲ爲ス行為ハ實ニ危險デアリマスガ故ニ結社ニ關係ナク不逞思想ヲ宣傳致ス行為ヲ處罰スル規定ヲ新タニ設ケタ次第デアリマス、ソレト同時ニ最近ニ於ケル運動情勢ガ分散的、個別的デアリマスノミナラズ、所謂人民戰線方策ノ採用以來其ノ運動態樣モ多岐多様ニ互ルニ至リマシタノデ、取締ノ完璧ヲ期スルガ爲ニハ、苟モ團體變革ノ思想ニ基キ、其ノ目的の遂行ニ資スベキ一切ノ個別的活動ヲモ亦總テ之ヲ罰スベキモノトナス必要ヲ認メマシタノデ、個人的行為ニ關シマシテモ、茲ニ「其ノ他目的の遂行ノ爲ニスル行為」ナル包括的規定ヲ設クルコトト致シタ次第デアリマス、其ノ六ハ類似宗教團體等ニ關スル處罰規定ヲ新タニ設ケタコトデアリマス、現行法第一條ガ皇道大本、天理本道、燈臺社ノ如キ類似宗教團體ニ對シテモ亦適用セラル、ニ至リマシタコトハ前述ノ通りデアリマスガ、是等ノ外過去ニ於テ人心ノ不安ニ乘ジ、無智蒙昧ナル一般大衆ヲ對象トシテ、神宮又ハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆シ、其ノ他國民ノ團體觀念ヲ惑亂スルガ如キ不逞不逞ノ教義ヲ宣布スルコトヲ目的トスル類似宗教團體ニ對シテ治安維持法ヲ適用スルコト困難ナル爲、之ヲ結

合體ソレ自體トシテ處罰シ得ズ、單ニ其ノ個々ノ行為ヲ捉ヘテ之ヲ處斷シタニ過ギナイ事例ガ二三止ラナイデアリマス、類似宗教團體ノ思想犯罪トシテノ特異性ハ、是等團體ガ個人ノ精神的救済ヲ其ノ主タル使命トスル一般ノ宗教團體ト異ナリ、現實ノ國家社會ノ改革ニ活動ノ重點ヲ置イテ居リマス結果、政治乃至社會運動團體タルノ性格ヲ帶ビテ居リマススト共ニ、其ノ反面ニ於テ、宗教的色彩ヲ多分ニ帶ビテ居ル點ニアルデアリマシテ、主トシテ政治乃至社會運動ヲ取締對象トシテ居リマスル現行法ヲ以テ之ヲ處斷セムト致シマス、勢ヒ法ノ不備ヲ免レナイデアリマス、其ノ必要ニ鑑ミ、新タニ團體ヲ否定シ、又ハ神宮若シクハ皇室ノ尊嚴ヲ冒瀆スルコトヲ目的トスル結社、及ビ集團ニ關スル處罰規定ヲ設ケタ次第デアリマス、次ニ第二章ハ刑事手續ニ關スル規定ヲ新設致シタコトデアリマスガ、大體ニ於テ四ツノ事項ヲ其ノ主要ナルモノト致スデアリマス、其ノ一ハ搜查機關ニ對シ相當廣汎ナル強制搜查權ヲ認メタコトデアリマス、其ノ二ハ公判手續ニ於テ控訴審ヲ省略スルコトニ致シタコトデアリマス、其ノ三ハ辯護士ノ指定及ビ其ノ數ノ制限等ニ關スル規定ヲ設ケタコトデアリ、其ノ四ハ管轄轉移ヲ爲シ得ル場合ヲ擴張致シタコトデアリマス、御承知ノ通り思想犯罪ハノ組織的且集團的デアアルコトヲ一ツノ特質ト致スデアリマス、從テ被疑者ノ數ハ相當多數ニ上ルヲ常ト致シマスルノミナラズ、其ノ多クハ相互ニ上下左右ノ組織的關係ヲ有シテ居リ、而モ其ノ組織ハ多クノ場合秘密組織デアリマス、而シテ其ノ複雑ナル關係ニアル秘密組

織ヲ捜査シ、或程度明確ニシタ後ニ非ラザレバ、特定ノ被疑者ガ如何ナル組織系統ニ屬シ、如何ナル地位、任務ヲ有シ、更ニ如何ナル徑路ニ依テ、又如何ナル目的ノ下ニ其ノ犯罪ノ活動ヲ遂行シタカヲ知リ難キ事情ニアリマス爲、從テ捜査ニ相當長キ時日ヲ必要トシ、且取調ニ際シ種々ノ困難ガ伴フデアリマス、加之、思想犯人ハ確信犯人タル特性ヲ備ヘ、極メテ執拗ナル行動ニ出デマスル關係上、或ハ地下ニ潛入シ、或ハ偽名ヲ使用シ、或ハ一味ノ秘密ヲ嚴守シテ果テ他ニ及サザラムコトニ專念致シ、捜査ノ衝ニ當ル者ニ對シテ容易ニ實ヲ告ゲズ、甚ダシキハ檢舉後數十日ヲ經過致シマシテモ、尙其ノ氏名スラモ之ヲ供述シナイ者モアリマシテ、捜査ハ實ニ困難ヲ極メルノデアリマス、又犯人中稍、重要ナル地位ニ在ル者ハ、廣範圍ニ互ッテ活動致スヲ常トシ、各地ニ多數ノ關係者ガ散在致スノデアリマスカラ、短時日ノ間ニ捜査ヲ終了致シマスコトハ殆ド望ミ難イデアリマス、特ニ人民戰線方策ノ採用以來、其ノ活動ガ合法場面ヲ利用スル偽裝ノモノニ立到リマシタ結果、其ノ現レタル行動カラ直チニ不逞思想ヲ看破致シ得ル場合ハ殆ド稀デアリマシテ、合法利用ノ文化運動ノ如キハ實ニ山積スル證據品ヲ檢討シ、極メテ稀薄ニ表現サレテ居ル思想ヲ捕捉シ、之ニ依ッテ罪ヲ斷ズルノデアリマス、其ノ困難ニシテ且時間ヲ要スルコトハ申ス迄モアリマセヌ、斯クノ如ク治安維持法ノ事犯ハ、捜査ヲ困難且長期ナラシムル幾多ノ事由ヲ具備スル反面ニ於テ一般犯罪者ト異ナリ、其ノ捜査ニ際シ被疑者ノ身柄ヲ拘束致シマセヌ時ハ、忽チ其ノ所在ヲ晦マシ、直チニ其ノ犯罪

罪ノ活動ヲ繼續スルヲ常トスルノデアリマス、從ッテ一旦檢舉致シマシタ以上ハ、其ノ終局處分ヲ爲ス迄其ノ身柄ヲ拘束シ、逃亡ヲ防止致シマスコトハ絕對ニ必要デアリマス、然ルニ現行刑事訴訟法ニ於キマシテハ、御承知ノ如ク、捜査機關ニ附與セラレタ強制捜査權ハ極メテ狭イ範圍ニ限ラレテ居リマシテ、捜査上ノ必要ヲ殆ド充シ得ナイデアリマス、仍テ本案ニ於テハ現行法制上捜査機關ノ中樞タル地位ヲ認メラレテ居リマスル檢事ニ對シ、相當廣範圍ノ強制捜査權ヲ附與シ、敏速適正ナル捜査ヲ實施セシメ、以テ治安維持ノ爲ノ必要ヲ充足スルト共ニ、其ノ濫用ヲ防止スル爲強制捜査ヲ致シタ場合ニ於テハ、其ノ責任ノ所在ヲ明確ニ致スベク十分ノ配慮ヲ加ヘテ規定致シタ次第デアリマス、次ニ審判手續ニ於テ控訴審ヲ省略略シマシタ點デアリマス、從來免モスルト刑事裁判ガ敏速ヲ缺キ、甚ダシキニ至ッテハ檢舉後數年ヲ經過シテ尙判決ノ確定ヲ見ザル事例モアリマシテ、斯クテハ刑罰ノ效果ヲ期待シ難キ憾ヲ藏シテ居ルノデアリマス、特ニ治安維持法違反事件ノ如キハ、急速ナル裁判ニ依リ犯罪ノ鎮壓ト豫防トノ效果ヲ舉ゲルコトヲ最モ必要トスル事案デアリマシテ、裁判確定セザレバ之ニ伴フ社會不安ヲ解消セシムルコト困難ナル事例ニ乏シクナイデアリマス、元來此ノ種事件ハ、其ノ實體內亂豫備ニ該當致スノデアリマス、現行刑事訴訟法ガ內亂豫備事件ヲ大審院ノ特別權限ニ屬セシメ、一審制ヲ採用致シタ立法趣旨ニ鑑ミマスルナラバ、此ノ種事案ハ極メテ敏速ニ處理致スコトガ必要デアルコトハ申ス迄モナイ所デアリマス、仍テ本案ニ於テハ審判手續ヲ敏速化スル爲、

控訴審ヲ省略スルヲ適當ト認メ、第一審ノ判決ニ對シ控訴ヲ許サザル旨ヲ規定致シタ次第デアリマス、本案ニ於テハ前述ノ如ク辯護ニ關シ種々ノ制限ヲ設ケマシタ、其ノ立法趣旨ハ要スルニ被告ノ辯護ニ名ヲ藉リタ所謂法廷鬭爭ヲ防止セムトスル所ニアルデアリマス、治安維持法ノ違反事件ノ審理ニ際シマシテ、屢、法廷鬭爭ガ行ハレマシタコトハ既ニ御承知ノ事柄ト存ジマスノデ、詳シクハ申上ゲマセヌ、本案ニ於テハ斯カル事例ニ鑑ミ其ノ弊害ヲ防止スル爲、辯護士指定ニ關スル規定ヲ設クルト共ニ、訴訟ノ敏速化ヲ圖ル爲辯護人ノ數ノ制限ニ關スル規定ヲ設ケ、且訴訟ニ關スル書類ノ閱覽、謄寫ヲ制限シ得ルモノト致シタ次第デアリマス、次ニ管轄轉移ヲ爲シ得ベキ場合ヲ擴張致シタ點デアリマスガ、前述ノ如ク思想犯罪ハ組織的、集團的犯罪タル特質ヲ有シテ居リマスノデ、全國各地ニ互リ多數ノ關係者ヲ檢舉シ、起訴致シ場合ガ多イデアリマス、事件ニ依リマシテハ各地ニ散在スル事件ヲ一箇所又ハ數箇所ノ裁判所ニ集中シテ審理ヲ致スコトガ、審理ノ敏速適正ヲ期スル上ニ極メテ效果的デアル場合ガ多イデアリマスガ、現行刑事訴訟法ノ管轄轉移ニ關スル規定ハ極メテ狭イ範圍ニ限ラレテ居リ、斯カル必要ヲ充足シ得マセヌノデ、新タニ管轄轉移ニ關スル規定ヲ設ケ、審理ノ敏速適正ヲ期シタノデアリマス、最後ニ第三章ハ豫防拘禁ニ關スル規定ヲ新タニ設ケタノデアリマス、思想犯人ハ所謂確信犯人デアリマシテ、之ヲ實情ニ徴シマスルニ、一旦感染シタル思想ハ容易ニ拂拭シ難ク、刑ノ執行ニ依ルモ全然悔悟セズ、在監久シキニ互リナガラ轉向ヲ肯ゼザル者、若シクハ

非轉向ノ儘刑ノ執行ヲ終了シ釋放セラレタル者、或ハ轉向ヲ偽裝シテ寬大ナル處置ヲ受ケタル者等、其ノ數相當多數ニ上ッテ居ルデアリマス、而モ最近ノ共產主義運動ニ於テハ、活動ノ中心ヲ成ス者ノ多クハ斯カル非轉向分子又ハ偽裝轉向分子ニシテ刑ノ執行ヲ終了シタル者、若シクハ執行猶豫ノ處分ニ付セラレタル者デアリマシテ、中ニハ出獄後半歲足ラズシテ多數ノ同志ヲ結合シ、無垢ノ者ニ惡思想ヲ感染セシメタル事例モ尠クナイデアリマス、加之、本年申ニハ所謂三・一五事件乃至四・一六事件關係ノ轉向巨頭分子ニシテ、出獄スベキ者ガ相當數ニ上ルデアリマシテ、彼等ヲ現下ノ社會ニ放出致シマスコトハ危險極リナイデアリマス、而シテ斯カル詭激分子ハ思想犯保護觀察法實施ノ結果ニ徴シマスルニ、保護觀察ニ付スルモ到底改悛ヲ期待シ得ザル者デアルコト明白デアリマスノデ、茲ニ豫防拘禁ノ制度ヲ新設シタノデアリマス、即チ詭激思想ヲ放棄セズ、再犯ノ虞顯著ナル者ニ對シ國家治安ニ關スル危險ヲ豫防スルト共ニ、危險ナル犯罪ヲ防遏スルノ效果ヲ完璧ナラシムルガ爲、一定ノ條件ト手續ト下ニ之ヲ社會ヨリ隔離シ、惡思想ノ傳播ヲ防止シ、併セテ強制ノ方法ニ依リ思想ノ改善ヲ圖リ、忠良ノ日本人ニ立歸デシムルコトヲ以テ豫防拘禁制度ノ主眼ト致スノデアリマス、而シテ本案ニ於テ規定致シマシタ豫防拘禁制度ハ、其ノ對象者ヲ治安維持法ノ罪ヲ犯シ、刑ノ執行ヲ終リテ出獄セムトスル者及ビ刑ノ執行ヲ終了若シクハ刑ノ執行猶豫ノ言渡ヲ原因トシテ、思想犯保護觀察法ニ依ル保護觀察中ノ非轉向分子ト致シマシタコト、檢事ノ請求ニ依リ裁判所ノ決定

ヲ以テ豫防拘禁ニ付スルコトト致シタコト、此ノ豫防拘禁ノ期間ヲ二年トスル相對の定期制度ヲ採用シタルコト、行政官廳ノ處分ヲ以テ何時ニテモ退所セシメ得ルコトト致シタコト、豫防拘禁委員會ヲ設ケ、豫防拘禁ノ請求、更新及退所ニ付委員會ノ意見ヲ求ムルコトヲ要スト爲シタコト、及ビ決定確定前ニ於ケル檢事及裁判所ノ強制權ヲ或程度認メタコト等ヲ其ノ骨子ト致スノデアリマス、以上ガ改正ノ主要ナル點デアリマスガ、大體ニ於キマシテ國體變革ニ關スル行爲ニ付特ニ其ノ罰則ヲ強化徹底セシムルコトニ重點ヲ置キ、現在ノ實情ニ即シ思想犯罪ノ處理ノ敏捷適正ヲ圖リ、其ノ豫防及ビ鎮壓ノ作用ヲ一層效果的ナラシムル趣旨ニ出デテ居ルノデアリマス、何卒慎重御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望スル次第デアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 一應政府ノ方

ノ説明ハ是デ終ツタノデアリマスケレドモ、質疑ニ入りマス前ニ、既ニ政府ヨリ提出セラレマシタル參考資料以外ニ、何カ參考資料ノ御請求ガアリマスレバ、此ノ際ニ御請求ヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 參考資料ニ付テ、此ノ

法律改正ヲ必要トスルニ至ツタ原因ト云ヒマスガ、詰リ治安維持法ニ於テ取締ラナケレバナラスヤウナ人間ガ澤山出來テ來ルト云フ其ノ根本ヲ先ヅ究メナケレバ、末バカリ幾ラヤツテ見テモ際限ノナイコトデハナイカト思フノデアリマス、其ノ根本ニナル彼等ノ陳述、或ハ司法當局ノ取調等ニ依ツテ得ラレタ原因ヲ一ツ何カ御調ニナツタモノハアリマスガ

○政府委員(秋山要君) ソレハ祕密會デ

御説明申上ゲタイト思ヒマス

○子爵岡部長景君 ソレデ結構デスガ、其ノ原因ニ付テハ詳シク御説明戴キタイト思ヒマス

○堀切善次郎君 只今ノニ關聯致シマスガ、

祕密會デ御話ヲ願ヒタイト思フノデスガ、只今大臣ノ御説明ノ中ニ、人民戰線方策ノ採用トカ、一昨年秋ノ「コミンテルン」ノ戰術轉換トカ云フコトガアリマスガ、是等ノコトニ付テノ内容ヲ、出來マスレバ祕密會デデモ詳細ニ伺ヒタイト思フノデアリマス、私ハ此ノ點ハ一向素人ナンドスガ、御説明ノ中ニ三・一五事件トカ、四・一六事件ト云フヤウナコトガ出テ居リマスガ、是等ノ内容モ伺ヒタイト思ヒマス、ソレカラ結社ノ程度ニ至ラナイ集團ガ非常ニ多イノデ、取締ガシニクカッタダト云フヤウナ御話ガアリマシタガ、是等ノ實例ノコトモ其ノ際ニ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、又類似宗教團體ヲ結合體トシテ處罰スルコトガ出來ナイデ、個々ノ行爲ヲ捉ヘテ處斷シタト云フヤウナ御説明ガアリマシタガ、是等ノ實例モ其ノ時ニ併セテ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス、是等ノ外ニ尙豫算總會デ警保局長ノ御説明モ大體之ニ付テアリマシタヤウデスガ、近頃ノ治安維持法ニ關係シマス思想犯罪ノ詳細ナル狀況ヲ、祕密會デ御説明ニナリマス時ニ詳シクドウゾ御説明ヲ願ヒ致シタイト思ヒマス

○山隈康君 只今ノコトニ牽聯シタ資料ノ

御提出ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、斯ウ云フ思想犯罪ニ對シマシテ嚴罰ヲ以テ其ノ撲滅ヲ期スルト云フコトモ、無論ハ必要ニ違ヒナイコトデアリマスガ、併シ法網密ニナレバ又之ヲ潛ル者ノ數ノ増加スルコトモ實例

ニ乏シクナイト思フノデアリマスカラ、例ヘバ學生ガ此ノ種ノ思想ヲ懷キ若シクハ其ノ實行ニ移ルト云フノハ、專門學校若シクハ大學ノ教授ノ不備デアルトカ、或ハ其ノ學生ガ煽動、示唆ニ陥リ易キ、ト云フノハ或ハ何カ新シキコトヲ追求シテ、新ナル世界ヲ見出サムト云フ、サウ云フ何カ特殊ノ思想ニ因ルベキモノデアルカ、其ノ他例ヘバ一般ノ場合ニ於キマシテハ隣保愛ノ缺乏ニ基ク

トカ、或ハ私生子デ兩親近親ノ慈愛ニ乏シイトカ、或ハ生活苦デアルトカ、若シクハ勞働者ガ虐待ニ堪ヘナイトカ、何カサウ云フ思想ヲ懷ク原因、大體犯罪者ノ各自ノ狀態ガアラウト思フノデアリマスガ、大別ヲ致シマシテ、ドウ云フ點カラ左様ナ思想ヲ懷キ、若シクハ懷ク危險ガアルカ、斯ウ云フコトヲ大體御取調ニナツテ居リマスルナラバ、其ノ資料ノ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、斯ウ云フモノハ私共ハ矢張り國家、社會、國民ガ協力ヲ致シマシテ、刑罰ヲ俟ツ迄モナク、根本ニ撲滅ノ對策ヲ講ズルト云フコトガ益、必要デハナイカト思フ、サウ致シマスト、其ノ原因ヲ先ヅ探究スルコトガ極メテ重要ナル點ト思ヒマスカラ、サウ云フモノヲ見マス資料ガアレバ御提出ヲ願ヒタイト思ヒマス、若シ資料ガナイト致シマシタナラバ、大體其ノ傾向ヲ、大體ヲ類別シタ思想犯罪ノ原因ニ付テ次ノ機會デモ宜シウゴザイマスカラ御説明ヲ願ヒタイト存ジマス

○男爵井田馨楠君 參考書類ノ御提出ヲ願ヒタイノハ、治安維持法ガ出來マシテ以來、數次ニ互ツテ法律ガ改正サレテ居リマスガ、最初カラ今日ニ至リマスル法律ヲ改正シタ度毎ノ案ヲ一ツ頂戴シテ見タイ、ソレカラ各官署ノ思想、殊ニ共產主義ニ關係アリマシタモノニ關スル調査表ヲ頂戴シタイ、是ハ詳細ニ一々ドウ云フ項目ニ分ケタト云フコトヲ御願ヲ致スノモ無理カモ知レマセスガ、出來ルダケ表トシテ體裁ヲ備ヘタモノガ頂戴シタイ、ソレカラ出來マシタラ、ソレハ大キナ會社ノ關係ノモ頂戴シタイ、愛國團體ニシテ偽裝のモノノガアルヤウデアリマシテ、斯カル團體ノ主ナルモノノ持ツテ居リマスル綱領等ヲ各團體毎ニ御示ヲ願ヒタイ、ソレカラ共產黨事件發生以來ノ我が帝國大學ニ於キマス各種ノ事柄、是ハ文部省關係デアリマスガ、只今政府委員ハオイデガナイカモ知レマセスガ、是ハ政府委員ノ方カラ御傳ヲ願ヒタイノデアリマス、是ハ最モ詳細ニ互リマシテ、共產黨事件發生以來ノ今日ニ至リマスルモノヲ、出來タナラバハ私ノ方カラ細カク御願ヒシマスレバ個人別ニ致シマシテ、其ノ學風、尙其ノ處分、行政處分ナリ、或ハ司法處分、兩處分ニ關スルコト迄モ記載致シマシタ一覽表ヲ頂戴シタイ、ソレカラ斯ウ云フ團體ガアルカドウカ知レマセスガ、若シアリト致シマスレバ特ニ私有財産ヲ否認スルヤウナ、サウ云フヤウナ團體ガアリマシタナラバ、斯カル結社及ビ其ノ結社ノ綱領ト申シマスガ、狀況ヲ示シタモノヲ頂戴シタイ、ソレカラ千九百三十九年ト思ヒマスルガ、「コミンテルン」ノ「テーゼ」、確カ三十九年「テーゼ」、斯ウ云フモノハ何レ祕密會デ御話ヲ願ヘルカモ知レマセスガ、出來得ルナラバサウ云フモノヲ一ツ書類ニシテ頂戴シタナラバ尙結構ダト思フノデス、尙色々御願ヒシタイコトハアリマスケレドモ、餘リ多クナリマスカラソレ位ノコトニシテ置キマシテ、私ハ此ノ次ノ御準備ノ關

係モアルカト思ヒマスノデ、司法省ノ思想者ニ對スル思想對策ト云フモノガオアリダラウト思フ、其ノ概況ヲ逐條審議ニ入ル前ニ、一般思想對策ト云フモノノ御説明ヲ概括的ニ御話ヲ願ヒタイト思ヒマス、先ヅ其ノ程度ヲ私ノ只今ノ要求ハ止メテ置キマス、尙會議ノ經過ニ應ジマシテ、或ハ書類ノ御提出ヲ願フカモ知レマセス

○山隈康君 私モ一ツ資料ノ提出ヲ御願ヒシテ置キタイ、轉向後更ニ赤化致シマシタ其ノ數及ビ轉向シタ者ガ更ニ赤化シタ動機ガ分ツテ居リマシタナラバ、ソレモ併セテ書類ノ御提出ヲ願ヒタイ、參考資料ヲ拜見シマスルト、類似宗教關係被告人ノ入信動機調ト云フノガアルノデアリマスガ、思想犯ニ對シマシテモ、先刻述ベマシタ之ト類似若シクハモット是ヨリモ正確ナモノガ、類別ガ出來テ居リマシタナラバ御示ヲ願ヒタイ

○次田大三郎君 只今井田男爵カラ御述ニナリマシタヤウニ、秘密會デ御話ニナル事柄ノ中デモ、書類ヲ見セテ戴ケルモノハソレヲ見セテ戴キタイト思フノデアリマス、若シ役所ノ中ノ秘密ナノデ非常ニ御困リニナルト云フヤウナモノデアレバ、後デ御返シシテ宜シイト思ヒマス、委員會ガ濟ム時ニ御返シシテ宜シイノデアリマスカラ、役所ノ中ニハ色々ノ調ガ出來テ居ルガラウト思フ、ソレヲ成ルベク見セテ戴キタイト云フ希望ヲ申上ゲテ置キマス

○子爵岡部長景君 モウ一ツ今井田男爵カラ思想對策ニ付テ司法當局ノ御意見ヲ伺ヒタイト云フ御希望ガアリマシタガ、是ハ至極結構ト思ヒマス、併シ司法當局ハ寧ロ犯罪ノ處理ト云フコトガ主タルモノデアアルカラ、

モット思想指導ト云フヤウナ見地カラ政府トシテドウ云フコトヲヤツテ居ラレルカ、是ハ一ツ關係各省ト御協議ノ上伺ヒタイト思フノデスガ、文部省ハ教育ト云フモノニ直面セラレ、思想全體ヲ指導サレテ居ル所ハナイヤウニ思ハレルノデスガドウカ一ツ御協議ノ上各關係當局カラ伺ヒタイト思ヒマス

○男爵井田馨楠君 今ノ岡部委員ノ御尋ニ關聯致シマシテ、私ハ尙更ニ文部省關係ノ方ノ御對策ヲ伺ヒタイ思ッテ居リマス、尙ソレヲ更ニ岡部委員ノ如クニ内閣トシテ總テ統轄シタ對策ト云フモノヲ、此ノ場合ニ於テ御話ヲ伺フコトハ極メテ適切ダト考ヘテ居リマス、尙秘密會ノ件デゴザイマスルガ、秘密會ノ中ニハ必ズシモ速記ヲ中止シナクテモ宜イヤウナ事項ガ從來秘密會ノ中ニ多アル、出來ルナラバ政府ニ於カレマシテ斯様ナ御話ヲ願フ時ニハ、先ヅ一般的ニ速記ニ載セテモ宜イヤウナコトハ先ヅ速記ニ載セテ戴イテ、サウシテ秘密會ニ入ッテ戴イタ方ガ後日ノ參考ニナルヤウニ思フノデアリマスガ、是ハ一ツ技術上ノコトデアリマスルガ、ソナハ風ニ御願ガ出來ナイモノデゴザイマセウカ、豫メ希望ヲ申上ゲタイ

○國務大臣(柳川平助君) 御要求ノ諸調査ハ出來ルダケ手段ヲ盡シテ、成ルベク早く致サセルコトニ致シマス、ソレカラ今ノ説明ノ方法ニ付テモ井田男爵カラノ御希望ヲ成ルベク滿タスヤウニ工夫致シタイト思ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 只今各委員カラ參考資料、或モノハ書面デ御出シヲ願ヒ、或モノハ秘密會デ御話ヲ願フノデアリマスアレドモ、只今井田男爵ノ言ハレタ如ク、

住々ニシテ我々ガ秘密會ノ内容ヲ聽イテ居リマシテモ、却テ是ハ公表シタ方ガ宜イト思フモノ迄秘密會ヲ利用シテ御話ニナリ、而モ貴族院デ秘密會デ御話ニナツタコトヲ、衆議院デ公開ノ席デ御話ニナツテ居ルト云フ事例ガ澤山アルノデアリマス、從ヒマシテ今回秘密會ニ於テ御話ニナル部分ハ、眞ニ秘密ヲ要スル部分ニ限ルコトニ專念セラレマシテ、成ルベク公ノ場合ニ於テ話シ得ル範圍ヲ廣ク御解釋ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、ドウモ今回ノ議會ヲ通ジテノ世間ノ評ハ、何ヲヤツテ居ルノダカ譯ガ分ラスト云フヤウナ批評ガアリマスノデ、本委員會ノ如キ重要ナル委員會ハ、殊ニ思想問題、人民ノ自由ニ關スル大キナ問題デアリマスルカラ、成ルベク之ヲ大膽ニ公ノ席ニ於テ御説明ヲ願フ範圍ヲ廣クシテ戴キタイト思ヒマスノデ、私カラモ政府ニ御願ヲ致シテ置キマス、外ニ參考材料ノ差當リノ御要求ハゴザイマセウカ、サウ致シマスレバ今日ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、二十四日月曜日午前十時ヨリ開會致スコトニ致シタイト思ヒマス、今日ハ是デ散會ヲ致シマス

午前十一時三分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 男爵渡邊 修二君
委員 公爵二條 弼基君
侯爵井上 三郎君
子爵岡部 長景君
子爵舟橋 清賢君
村上 恭一君
男爵井田 馨楠君

國務大臣

司法大臣 柳川 平助君

政府委員

司法省刑事局長 秋山 要君

司法書記官 太田 耐造君

田口 弼一君
堀切善次郎君
男爵伊江 朝助君
山岡萬之助君
次田大三郎君
長岡隆一郎君
竹下 豐次君
山隈 康君

昭和十六年二月二十六日印刷

昭和十六年二月二十七日發行

貴族院事務局

印刷者 内閣印刷局